

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



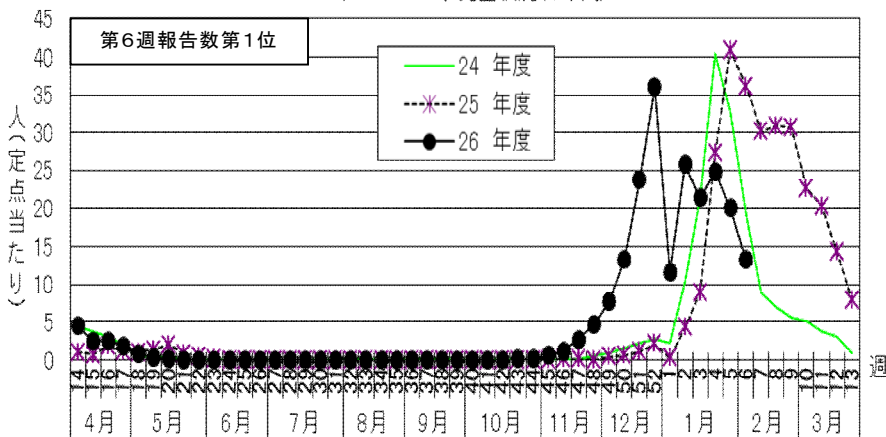
KAWASAKI CITY

平成27年2月2日（月）～平成27年2月8日（日）〔第6週〕の感染症発生状況

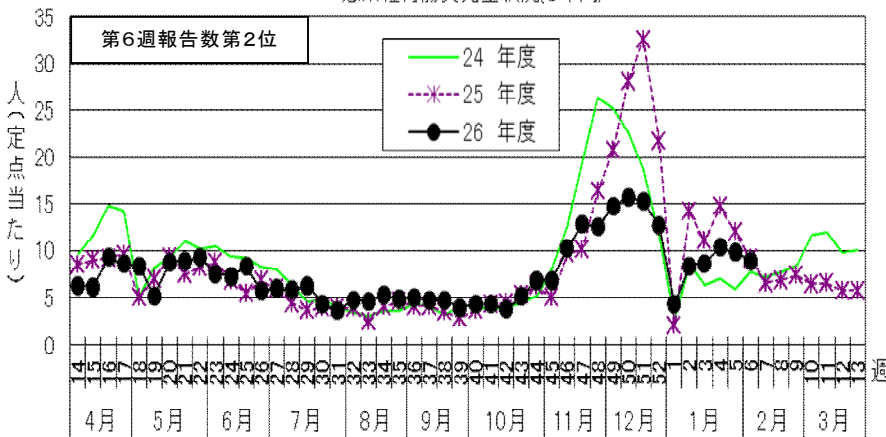
第6週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は13.31人と前週（20.02人）から減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.94人と前週（9.82人）から減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.45人と前週（3.09人）からやや減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況(3年間)



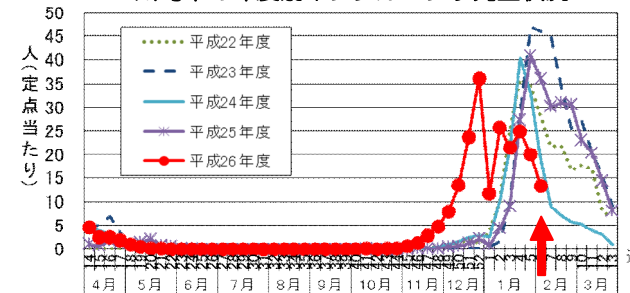
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



引き続き注意が必要！～インフルエンザ～

川崎市では、第6週のインフルエンザ患者報告数が定点当たり13.31人となり、年明け以降減少傾向にありますが、依然として患者数は多い状況です。小学校や中学校などでの学級閉鎖等の報告も続いているため、特に集団生活を行う場では引き続き注意が必要です。「マスク」や「手洗い」などの予防対策を心がけましょう。

川崎市の年度別インフルエンザ発生状況



<感染予防のポイント>

- ワクチン接種
- マスクの着用
- 手洗いの徹底
- 適度な湿度の保持
- バランスの取れた食事
- 不要な外出を控える



川崎市内の学校等における学級閉鎖等実施状況
※平成27年2月10日時点

